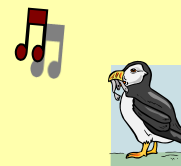


[定期文化講座講演会]
宇部市民オーケストラ
第10回 気軽にアンサンブル

- ♪ 日時：2011年7月3日（日）午後2時開演
- ♪ 場所：男女共同参画センター・フォーユー3階ホール
- ♪ 主催：宇部市民オーケストラ、指定管理者 パームズ
- ♪ 後援：宇部市民オーケストラ後援会



梅雨明け間近となった今日この頃ですが、本日は宇部市民オーケストラの「気軽にアンサンブル」にご来場いただきありがとうございます。この「気軽にアンサンブル」は2002年の開始以来、宇部オケの恒例行事として今回で10回目を迎えました。今回も昨年に続いて宇部市男女共同参画センターの定期文化講座講演会として指定管理者のパームズとの共同開催とさせていただき、開催に当り大変お世話になりました。

本日は前半に皆様方になじみの深い小品などを取り入れ、文字通り気軽にお楽しみいただければと考えております。日曜日の午後のひととき、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

プログラム



1. バッハ「主よ人の望みよ喜びよ」
シューベルト「アヴェマリア」
モーツァルト「ディベルティメント」KV. 137 より第2楽章 (弦楽8重奏)
Vn I：安永恵、松井顕子、Vn II：清水治子、香川早苗、
Va：濱野妙子、吉本宗明、Vc：栗林宏明 加藤由香里
2. ブラームス 弦楽6重奏曲第1番変ロ長調より、第1,2楽章
Vn I：安永恵、Vn II：清水治子、Va I：濱野妙子、Va II：上野明弘、Vc I：栗林宏明、Vc II：加藤由香里
3. 滝廉太郎「荒城の月」、「花」、
井上陽水「少年時代」 (弦楽アンサンブル)
Vn：安永恵、安楽由利子、池田英子、池田芳江、香川早苗、佐貴政彰、清水治子、田村紗季子、長岡祥、
縄田美言、深田奈保、松井顕子
Va：濱野妙子、上野明弘、田中美衣、吉本宗明、Vc：栗林宏明・加藤由香里・佐伯真理子・原田典子

————— 休 憩 —————

4. ライヒャ 木管5重奏曲 二長調作品91-3
Fl：野田奏子、Ob：青木浩明、Cl：向山尚志、Fg：藤田早苗、Hr：福田 誠
5. モーツァルト 交響曲第29番イ長調Kv. 201より第1,3楽章
メンバーは、3. と同じ



<弦楽合奏版>

♪♪♪ 曲目紹介 ♪♪♪

1. バッハ「主よ人の望みよ喜びよ」

信心深いキリスト教の教会楽士のバッハが教会のミサで演奏するために作曲したカンタータ（合唱曲）です。心を穏やかに祈り込めて演奏したいと思います。

シューベルト「アヴェマリア」

この曲もキリストの聖母マリアの慈悲深い愛を讃える歌曲です。第1 ヴァイオリンと第2 ヴァイオリンの美しい主旋律の重奏をチェロの通奏低音とヴィオラのアルペジオーネの伴奏（これが結構大変…）で彩ります。皆さんがこれを聴いて優しい気持ちになって下さると私達も幸せです。



モーツァルト「ディベルティメント」変ロ長調 KV. 137 より第2楽章

モーツァルトが2回のイタリア演奏旅行からの帰国後、16歳の時に作曲した弦楽四重奏のための喜遊曲です。いかにもイタリアの明るい気候を思わせるような軽やかな旋律の曲で当時住んでいたザルツブルクにちなみ、ザルツブルクシンフォニーとも言われます。

2. ブラームス 弦楽6重奏曲第1番変ロ長調より、第1,2楽章

日本でいえば江戸時代の末期である1860年に初演され、ブラームス20代後半に作曲された室内楽の最高傑作の中の1つ。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロをそれぞれ2本ずつ用いた楽器編成で、中低音部の響きが強められ重厚な印象を与えています。第2楽章はフランスの映画音楽「恋人たち」でも使用され日本でも人気を博しています。クララ（ブラームスの師であったシューマンの妻）への思いが込められているのかも・・・。



3. 滝廉太郎 「荒城の月」、「花」

お馴染みの滝廉太郎作曲の唱歌です。

今日は、「荒城の月」（作詞：土井晩翠）は情緒たっぷりと、「花」（作詞：武島羽衣）はモーツァルト風のアレンジで軽やかにお届けします。

井上陽水「少年時代」

これはもう夏の定番の曲ですね。大人になってしまった私達に、この曲はいつでも子供時代の夏の楽しく、切なく、遣る瀬無い思い出を呼び起こしてくれる名曲ではないでしょうか…

4. ライヒャ 木管5重奏曲 二長調作品 91-3

アントニン・ライヒャ（1770～1836）は、チェコのプラハに生まれ、ドイツやウィーンで青年時代を過ごし、後半生はパリで活躍した作曲家です。生まれた年はベートーヴェンとまったく同じで、1785年に宮廷楽士としてボンに移り住んだ時には、ベートーヴェンも同じ楽団のメンバーで親しい関係だったようです。今日では彼の作品として、本日演奏する楽器編成の木管5重奏曲がよく知られており、全部で24曲もの木管5重奏曲を残しています。今回はその24曲中では9番目にあたる作品91-3を演奏します。4つの楽章で構成され、特にフルートをはじめとそれぞれの楽器が華やかに活躍する楽しい作品です。



5. モーツァルト 交響曲第 29 番イ長調 Kv. 201 より

<弦楽合奏版>

第 1 楽章 Allegro moderato

第 3 楽章 Menuetto-Trio

モーツァルトの交響曲では、36 番以降の後期の作品がよく知られていますが、それと並んでよく知られているのがト短調の第 25 番とこの第 29 番です。楽器編成は弦楽器とホルン・オーボエという簡素な編成で、管楽器は慎ましく、弦楽器は華やかで、流麗なメロディを奏でます。

今日は弦楽四重奏版を弦楽合奏で演奏致しますが、元々弦楽四重奏曲のような緻密な構造を持っていますので、充分にお楽しみいただけると思います。



—宇部市民オーケストラ・今後の演奏会のご案内—



第 13 回「クラシックの午後～気軽にオーケストラ」

2011 年 9 月 4 日(日) 開場 13:00 開演 14:00

会場：宇部市渡辺翁記念会館

指揮：小宮健志郎

ヴァイオリン独奏：上野美科

入場料：1000 円（高校生以下 500 円）

<プログラム>

ドボルザーク作曲「スラブ舞曲集」より第 3 番変イ長調、第 10 番ホ短調

ドボルザーク作曲「チェコ組曲」

サン・サーンス作曲「序奏とロンド・カプリツィオーソ」

モーツァルト作曲 歌劇「フィガロの結婚」序曲

モーツァルト作曲 交響曲第 41 番ハ長調 KV. 551「ジュピター」

<この演奏会のときにも、開演前にロビーでアンサンブルの演奏を行います。>

「荒城の月」 土井晩翠作詞・滝廉太郎作曲

春高楼(こうろう)の 花の宴(えん)
巡る盃(さかづき) 影さして
千代の松が枝(え) 分け出でし
昔の光 今いずこ

秋陣営の霜の色
鳴きゆく雁(かり)の数見せて
植うる剣(つるぎ)に照り浴いし
昔の光 今いずこ

変わらぬ光 誰(た)がためぞ
垣に残るは ただ葛(かずら)
松に歌う(うとう)は ただ嵐

天上影は 変わらねど
栄枯(えいこ)は移る 世の姿
映さんとてか 今も尚
ああ荒城の夜半の月

「花」 武島羽衣作詞・滝廉太郎作曲

春のうららの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
權(かひ)のしづくも 花と散る
ながめを何に たとふべき

見ずやあけぼの 露浴びて
われにも言ふ 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳(あおやぎ)を

錦おりなす 長堤(ちょうてい)に
くるればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
ながめを何に たとふべき

「少年時代」 井上陽水作詞・作曲

夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれに さまよう
青空に 残された
私の心は 夏模様
夢が覚め 夜の中
永い冬が 窓を閉じて
呼びかけたままで
夢はつまり 思い出のあとさき
夏まつり 宵かがり
胸の高なりに 合わせて
八月は 夢花火
私の心は 夏模様
Mu……………

目が覚めて 夢のあと
長い影が 夜にのびて
星屑の空へ
夢はつまり 思い出のあとさき
夏が過ぎ 風あざみ
誰のあこがれに さまよう
八月は 夢花火
私の心は 夏模様
Mu……………

